

<第一発見者カード>

第一発見者カードは、名札ケースの裏面やネックストラップの利用等により、教職員全員が携帯しておきます。

緊急対応が必要な児童生徒の第一発見者は、携帯している第一発見カードを見て、応急手当を開始します。

(表面)

○生徒の状態を確認する「大丈夫？」

○**大声**で

人を集める「誰かきてください」

○裏を確認

→当てはまらない→保健室へ

○職員室に「緊急」「名前」「場所」を伝えてもらう

※名札ケースの大きさに作成

(裏面)

★呼びかけに反応がなく呼吸がなければ心肺蘇生

・呼吸の確認に迷ったらすぐに胸骨圧迫

・AED

・胸骨圧迫30回と(気道確保)人工呼吸2回を絶え間なく

※ただし人工呼吸については技術と意思があれば行う

【次のひとつでもあればエピペンを使用する】

- | | |
|-----------|---------------|
| ・ぐったり | ・のどや胸がしめつけられる |
| ・意識もうろう | ・声がかすれる |
| ・尿や便を漏らす | ・犬が吠えるようなせき |
| ・脈がふれにくい | ・息がしにくい |
| ・唇や爪が青白い | ・持続する強いせき込み |
| ・我慢できない腹痛 | ・ゼーゼーする呼吸 |
| | ・繰り返し吐き続ける |